

作成日 平成 22 年 11 月 2 日

改定日 平成 30 年 3 月 28 日

## 安全データシート

### 1. 製品および会社情報

製品名 : ビマスターJ  
 会社名 : ニューファム株式会社  
 住所 : 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-2  
 担当部門 : 業務部  
 電話番号 : 03-5511-7561  
 FAX 番号 : 03-5511-7562  
 緊急連絡先 : 03-5511-7561

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 5
	急性毒性（経皮）	区分 5
	眼刺激性	区分 2 B
	皮膚刺激性	区分外
環境に対する有害性	皮膚感作性	区分外
	水生環境有害性（急性）	区分 3
	水生環境有害性（慢性）	区分 3

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

#### GHSラベル要素

絵表示	該当なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ（経口）
	皮膚に接触すると有害のおそれ
	眼の刺激
	水生生物に有害
	長期継続的影響により水生生物に有害

#### 注意書き

[予防策]	必要な時以外は、環境への放出を避けること。 取り扱い後は手足、顔などをよく洗うこと。
[対応]	気分が悪い時は、医師に連絡すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄続けること。 眼刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
[保管]	
[廃棄]	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 組成、成分情報

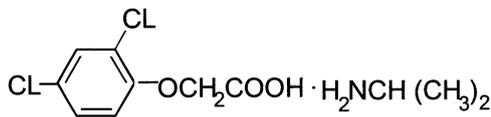
単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : ① イソプロピルホスホン酸-N-(ホスホメチル)グリシナート  
② 2,4-PA イソプロピルホスホン酸塩

成分及び含有量 : ① イソプロピルホスホン酸-N-(ホスホメチル)グリシナート ; 10.0%  
② 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸イソプロピルホスホン酸 ; 5.0%  
② 水、界面活性剤等 ; 85.0%

分子式 : ①  $C_3H_8NO_5P \cdot C_3H_9N$   
②  $C_8H_6Cl_2O_3 \cdot C_3H_9N$

構造式 : ① 
$$HO_2CCH_2NHCH_2\overset{O}{\parallel}P(OH)_2 \cdot H_2NCH(CH_3)_2$$
  
②



CAS No. : ① 38641-94-0  
② 5742-17-6

## 4. 救急措置

皮膚に付いた場合 : 直ちに水で洗い流し、石鹼でよく洗う。汚染した衣服類はよく洗い落としてから着用する。  
眼に入った場合 : 直ちに多量の水で少なくとも 15 分間水洗し、眼科医の手当を受ける。  
吸入した場合 : 吸入した場所からすばやく離れ、多量の水、温水又はうがい薬を用いてうがいし、医師の手当を受ける。  
飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合は吐き出させず、直ちに医師の手当を受ける。

## 5. 火災時の措置

消火方法 : 燃焼ガスには、窒素酸化物、一酸化炭素等が含まれるので、消火作業の際には、保護具を着用すること。一般には、散水・消火剤で消火する。  
消火剤 : 水・粉末・炭酸ガス・泡など

## 6. 漏出時の措置

多量の場合 : 下水、排水、井戸などに流れ込まないようにして回収する。  
少量の場合 : 直ちに拭き取り、空容器などに回収する。  
いずれの作業にも適切な保護具を着用する。なお、回収したものの処分は「廃棄上の注意」の項に従って行う。

## 7. 取扱い及び管理上の注意

取扱い : ラベルをよく読む。記載以外には使用しない。散布の際は農薬用マスク・手袋・長ズボン・長袖の作業衣、保護眼鏡などを着用、皮膚、眼に接触しないようにする。また、取扱いにあたり、できるだけ風上から作業すること。水域に直接散布しないようにし、廃液、洗浄

- 水も水域に流さない。
- 保 管 : 適当な換気のある乾燥した冷暗所に飲食物と区別して密封して保管する。小児の手の届く所には置かない。有効年月内に使用すること。

## 8. 曝露防止及び保護措置

- 設 備 対 策 : 局所排気装置の設ける。取扱い作業場の近くに洗顔、洗面、うがい、安全シャワー設備を設置する。
- 保 護 具 : 状況に応じた適切な保護具を着用する。  
保護マスク、保護メガネ、保護衣(長袖、長ズボン)、ゴム手袋

## 9. 物理的及び化学的性質

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| 外観等：淡黄色澄明水溶性液体  | 溶解性：水と自由に溶け合う |
| 臭 気：かすかな魚臭      | 引火点：引火性なし     |
| 比 重：1.120 (20℃) | 発火性：なし        |
| pH : 5.5        | 爆発性：なし        |

## 10. 安定性及び反応性

- 安 定 性 : 通常条件で安定
- 反 応 性 : 強アルカリでイソプロピルアミンが遊離する。
- 燃焼時、一酸化炭素・塩化水素・磷酸酸化物等が発生するので、注意しながら少量ずつ焼却処分する。

## 11. 有害性情報

- 急 性 毒 性 : LD<sub>50</sub> ; >2500 mg/kg (ラット雌雄・経口)  
LD<sub>50</sub> ; >4000 mg/kg (ラット雌雄・経皮)
- 刺 激 性 : 眼/刺激性あり(区分2B)、皮膚/刺激性あり(区分外)
- 感 作 性 : なし
- 発がん性 : 製剤品としてのデータなし。
- 生殖毒性 : 製剤品としてのデータなし。

## 12. 環境影響情報

- 水生環境有害性(急性) : 区分3
- |      |  |
|------|--|
| コイ   | LC <sub>50</sub> (96hr) : 330ppm                 |
| ミジンコ | EC <sub>50</sub> (48hr) : 120ppm                 |
| 緑藻   | E <sub>r</sub> LC <sub>50</sub> (0-72hr) : 48ppm |
- 水生環境有害性(慢性) : 区分3
- 急性区分が3で、急速分解性及び生物蓄積性が不明であることから慢性区分3とした。

## 13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて薬液を調整し、使い切る。空容器の洗浄水等は河川に流さず、タンクに入れる。空容器は使用場所に放置せず、3回以上水洗し環境に影響のないよう適切に処理する。未使用の薬液を処理する場合は、廃棄物処理業者等に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に扱い、容器が破損しないように乱暴な取扱いは避ける。

## 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第 21567 号  
労働安全法 : 該当しない  
PRTR 法 : 第一種指定化学物質 該当しない  
          : 第二種指定化学物質 該当しない

## 16. その他の情報

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。またヒトに対する危険、有害性評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いは充分注意を払って下さい。